

令和 4 年度 阿久比町教育委員会
事務点検・評価報告書
(令和 3 年度実施事務事業)



令和 4 年 9 月
阿久比町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、各教育委員会
は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果
に関する報告書を作成して議会に提出・公表することが求められています。

この目的は、教育委員会が点検・評価を行い、その結果を公表することにより、効果的な教
育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくというものです。

また、この点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るも
のとされております。

本報告書は、令和3年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行
い、学識経験者の意見を付してまとめたものです。

令和4年9月

阿久比町教育委員会

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長
に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員
等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行
い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければ
ならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する
者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成	4
2 新教育委員会制度への移行	5
3 総合教育会議の開催状況	5
4 教育委員会の開催状況	5
5 教育委員会後援名義使用の状況	5
6 学校訪問の開催状況	6
7 教育委員会委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）	6

II 教育委員会施策の自己点検・評価

○学校教育関係

1 幼保小中一貫教育の推進	8-9
2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進	10-12
3 特別支援教育の充実	13
4 安全安心な学校給食センター運営	14

○社会教育関係

5 青少年健全育成推進大会の実施（「社会を明るくする運動大会」と「安全安心町民大会」との合同開催）	15-16
6 文化・芸術活動育成の支援	17-19
7 魅力ある図書館づくりの推進	20-22
8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進	23-25

III 学識経験者の意見 教育委員会事務評価委員会報告書

評価結果	27-31
------	-------

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

令和3年4月1日～令和3年9月30日

役職	委員名	任期	備考
教 育 長	田中 清高	R2. 4. 1～R5. 3. 31	
教育長 職務代理者	稲葉 清仁	H29. 10. 1～R3. 9. 30	
教育委員	竹内 賢司	H30. 10. 1～R4. 9. 30	
教育委員	竹内比名子	R1. 10. 1～R5. 9. 30	
教育委員	中條屋由香里	R2. 10. 1～R6. 9. 30	

令和3年10月1日～令和4年3月31日

役職	委員名	任期	備考
教 育 長	田中 清高	R2. 4. 1～R5. 3. 31	
教育長 職務代理者	竹内 賢司	H30. 10. 1～R4. 9. 30	
教育委員	竹内比名子	R1. 10. 1～R5. 9. 30	
教育委員	中條屋由香里	R2. 10. 1～R6. 9. 30	
教育委員	稲葉 清仁	H29. 10. 1～R3. 9. 30 R3. 10. 1～R7. 9. 30	

2 新教育委員会制度への移行

平成 27 年 4 月 1 日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、これまでの教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」を設置する、新教育委員会制度に移行することが決まった。施行日において在職中の教育長の任期が満了するまでは従来の制度が存続するため、阿久比町では平成 29 年 4 月 1 日をもって新制度に移行した。

新制度移行により、従来の教育委員長及び教育委員長職務代理者は廃止され、新「教育長」及び教育長職務代理者が新たに設置された。なお、教育長の任期は 4 年から 3 年に変更となった。

3 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成 27 年度に町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」が設置された。令和 3 年度は令和 3 年 7 月 14 日（水）に阿久比町役場会議室 101 で開催し、下記の議題について検討した。

議 題 「阿久比町教育大綱の改正について」

4 教育委員会会議の開催状況

下記のとおり定例及び臨時教育委員会会議を開催し、議案 37 件の審議を行った。

- ・ 定例会 12 回
- ・ 臨時会 3 回

5 教育委員会後援名義使用の状況

過去に承認済で、かつ継続して後援名義使用の事業については、事務局による書類審査にて、また新規申請事業については教育委員会会議において申請者に説明を求め、質疑応答、審議し可否を決定した。

申請数 28 件
許 可 27 件 不許可 1 件

6 学校訪問の実施状況

知多教育事務協議会主催の学校訪問は中止となったが学校参観という形で、教育委員や教育長、教育委員会の職員が学校へ出向き、授業等を視察した。その後学校・園幹部と、授業の改善、家庭における生活習慣の形成、いじめ・不登校への対応、特別な支援を要する園児・児童・生徒への対応、学校の安全体制の整備、部活動などについて、より良い学校・園運営のための意見交換を行った。

開催日	学校名	備考
6月7日（月）	阿久比中学校	
6月22日（火）	南部小学校	
6月29日（火）	草木小学校	
9月15日（水）	ほくぶ幼稚園	
9月24日（金）	東部小学校	
10月22日（金）	英比小学校	

7 教育委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）

- ・各小中学校入学式及び卒業式、幼稚園入園式及び卒園式
- ・教職員辞令伝達式
- ・愛知縣市町村教育委員会連合会定期総会
- ・知多地方教育事務協議会
- ・知多地方教育委員研修会
- ・阿久比町教育支援委員会
- ・小中学生海外派遣事業実施委員会【中止】
- ・小学生海外派遣事業及び中学校海外家庭生活体験事業報告会【中止】
- ・現職教育発表会【中止】
- ・いじめ等問題対策連絡協議会
- ・成人式
- ・青少年健全育成推進大会
- ・生涯学習フェスティバル【中止】
- ・文協まつり【中止】
- ・書き初め大会
- ・風あげ大会【中止】 など

Ⅱ 教育委員会施策の自己点検・評価

施策名	1 幼保小中一貫教育の推進
-----	---------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

【施策の概要】

○中学校3年生における「めざす生徒像」を定め、阿久比町の子どもたちに生きる力を身につけさせ義務教育を修了できるよう取り組んでいる。幼保小中の職員(保育士・教員)、そして保護者や地域や行政職員を加えプロジェクトを組織し、「欠落なき教育」「落差なき教育」「段差なき教育」の実現に取り組んでいる。令和3年度は、活動方針を「ICTを活用し、未来を担う子どもたちの教育を進めよう。」とした。GIGAスクール構想の実現に向けた中でICTを活用できる場面では、活動の在り方や方法を模索し、見直しを進め、阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクトのさらなる浸透を図る。

【令和3年度の取組状況『4部会の取組』】

＜幼保小接続部＞

幼保教員・保育士の小学校研修、小中学校教員の幼稚園研修など、幼稚園・保育園と小学校の接続に焦点を当てた取組を計画した。5月に行う予定だった小学校体験研修(前年度に幼稚園・保育園の年長クラスを担当した先生方が行う)は新型コロナウイルス感染症の拡大により令和3年度も情報交換のみとなってしまうが、感染状況が落ち着いた夏休みには、昨年度縮小して行った小中学校教員の園研修を行うことができた。令和2年度に体験ができなかった教員も含め、研修を行った。参加者からは「きめ細やかな指導の在り方」「子どもと接するときの柔らかさや温かさ」を学んだ等の感想があった。交流が基となり、後の就学時健診では園児と教師が声を掛け合う姿もあり、「小学校が楽しみ」と話す園児もいた。

11月に行った町一斉幼保小交流会では、直接的な交流は令和3年度もできなかったが、動画でのメッセージ交換をするなどの交流を進めた。

町で作成している「幼保統一カリキュラム」や小学校1年の「スタートカリキュラム」に基づき、該当学年において各カリキュラムの実践、また、令和4年度に向けて、小学校1年生の給食開始時期の見直しを進めた。



【園研修】

＜小中接続部＞

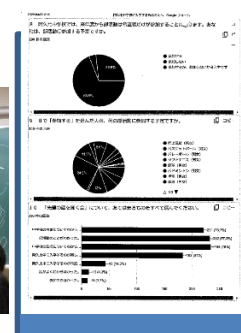
小学校と中学校の接続に焦点を当てた取組を継続して行う計画を立てていた。計画をしていた「冬休み部活動体験」では、小学6年生の児童が中学校を訪れる予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大で中学校では部活動も活動自体ができていない状況だったので、この取組は中止とせざるを得なかった。

しかし、12月には「中学校の先輩の話を聞く会」を実施できた。中学3年生代表が母校を訪れ、事前に集約していた小学6年生児童からの中学校生活についての質問に答え、交流することができた。

児童生徒の直接的な交流に制限がかかる中、新たな試みとして、教師の異校



8 【先輩の話を聞く会】



【アンケートの集約】

種間交流を進めた。小学校の先生が中学校で、中学校の先生が小学校で授業をした。「段差なき教育」につなげるため、研修を兼ねることで参加できる教員を今後も増やしていきたい。また、3学期にはGoogle フォームを使い、中学校が小学校6年生に向けて、「中学校に入学するみなさんへ」というアンケートを行った。中1ギャップを防ぐために入学前の児童が楽しみにしていること、不安に思っていることを把握した。

<啓発連携部>

啓発連携部では、従来から取り組んでいるノーメディアデーや学びウィーク、親子ふれあいキャンペーン、幼保小中高一貫あいさつ運動を進めた。また、地域の方を講師として迎えて行う「土曜学習」や学校支援ボランティアなど、地域の教育力の取組も進めた。



【幼保小中高一貫あいさつ運動】

令和2年度は「土曜学習」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止だったが、令和3年度は感染状況を見ながら、徐々に活動を再開していくことができた。「ノーメディアデー」や「学びウィーク」などの活動は継続して行うことができた。

また、啓発・連携を深めるために、それぞれの部会がWEBで会議ができるよう準備を進めた。保育園でのインターネット環境等の課題はあったが、WEBカメラ等の必要機材を整えることができ、環境整備も進められている。部会によっては、WEB会議も行うことができ、コロナ禍においても、連携の機会を増やすことができた。

<特別支援教育部>

特別な支援を必要とする園児・児童生徒に切れ目のない支援を提供できるように取り組みを進めている。特別支援教育指導員の幼稚園・保育園・小中学校への派遣や、発達障害や合理的配慮に関する研修会を行うことで、子どもたちを支えている。

令和3年度より新たに、教員の「放課後等デイサービス事業所」への訪問（見学）を行った。事業所職員との情報交換や、日頃児童生徒が通い生活している環境を知ること、児童生徒理解を進めることができた。

夏には、特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者を対象とした保護者交流会を開催し、意見交換や進路についての情報提供を行った。

特別支援学級交流会では、阿久比中学校の特別支援学級在籍生徒が各自出身校を訪問し、母校の特別支援学級児童と一緒に製作活動をしたり、ふれあい遊びをしたりした。小学生は中学生と関わり合うことで、不安を軽減することができた。



【保護者交流会】



【特別支援学級交流会】

【自己評価・今後の課題】

- ◇徐々に環境が整いつつあるGIGAスクール構想により、昨年度にはなかった試みを多く試し、実行することができた。今、できる計画を企画し、実行に移していきたい。
- ◇部活動の地域移行に向けて、課題を明確にしつつ、関係機関と連携を図り、児童生徒にとってよりよい部活動となるように話し合いを進めていきたい。

施策名	2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進
-----	----------------------

(担当：学校教育課 庶務係)

【施策の概要】

- 町内の4小学校1中学校の校舎及び施設は、築後40年から50年経過しているものが多数あり老朽化による問題が多発している。子どもたちの安全を第一に考え必要な整備や改修工事、修繕等を順次行っている。阿久比中学校の生徒増加についても様々な整備も順次行っている。
- 子どもたちが授業を受けるための安全で快適な教育環境を整備するため、必要な設備や備品等の導入を進めている。

【令和3年度の取組状況】

- 校舎等改修工事（主なもの）
 - 小学校特別教室通信ネットワーク整備工事 12,581,382 円
 - ※ 小学校特別教室の通信ネットワーク整備のため実施
 - 東部小学校屋内運動場等防水工事 2,662,000 円
 - ※ 体育館トイレ及び倉庫等の屋上防水のため実施
 - 東部小学校コンビネーション遊具補修工事 1,188,000 円
 - ※ コンビネーション遊具補修のため実施
 - 東部小学校本館北館手すり設置工事 442,200円
 - ※ 肢体不自由児童のため階段に手すり設置のため実施
 - 英比小学校南西校舎防水工事 20,900,000円
 - ※ 南西校舎屋上防水のため実施
 - 英比小学校教室ロッカー等改修工事 2,838,000 円
 - ※ 特別教室を普通教室に変更するため実施
 - 英比小学校通級教室空調設置工事 968,000 円
 - ※ 通級教室に空調を設置するため実施
 - 草木小学校昇降口屋根防水工事 935,000 円
 - ※ 昇降口屋上防水のため実施。
 - 草木小学校保健室空調更新工事 649,000 円
 - ※ 保健室空調機器更新のため実施
 - 草木小学校図書室空調機改修工事 1,199,000 円
 - ※ 図書室空調機器更新のため実施
 - 南部小学校防火シャッター改修工事 5,951,000 円
 - ※ 北校舎防火シャッター改修のため実施

南部小学校アクセスポイント取付工事 264,000 円

※ クラス増によるアクセスポイント設置のため実施

阿久比中学校駐輪場設置工事 5,830,000 円

※ 生徒増加による駐輪場設置のため実施

中学校特別教室通信ネットワーク整備工事 5,974,518 円

※ 中学校特別教室の通信ネットワーク整備のため実施

阿久比中学校特別教室空調設備整備工事 55,165,000 円

※ 特別教室に空調設備整備のため実施

阿久比中学校南校舎トイレ改修工事 29,920,000 円

※ 中学校南校舎東側トイレを乾式化・洋式化のため実施

阿久比中学校北校舎2・3階サッシ改修工事 50,160,000 円

※ 北校舎2・3階サッシを改修し長寿命化のため実施

阿久比中学校パーテーション取付工事 286,000 円

※ 特別支援学級分割のため実施

阿久比中学校アクセスポイント取付工事 591,800 円

※ クラス増によるアクセスポイント設置のため実施

阿久比中学校教壇柵取付工事 496,100 円

※ クラス増による教壇、柵設置のため実施

○阿久比中学校特別教室空調設備整備工事 55,165,000 円

特別教室に空調機を設置した。(国補助事業)



【自己評価・今後の課題】

- ◇老朽化により、校舎等の改修を必要とする箇所が増え、また費用面でも大きなものが増えてきている。長寿命化の計画どおりに進めていきたいところだが、財政的に厳しい状況です。令和3年度は中学校北校舎のサッシ改修も完了した。今後は爆裂など外壁破損が見られるので生徒の安全のため防水工事を含め早めに工事する必要がある。また、20年後には建築後80年を順次経過するため中長期にわたり建築計画を立てると同時に学校整備基金の積み立ての必要がある。
- ◇トイレ改修工事はほぼ毎年国の補助事業に採択され、乾式化・洋式化工事が進んでお

り小学校校舎の工事は完了した。令和３年度は阿久比中学校南校舎東側トイレ改修を実施することができた。主に教職員が使用するトイレを乾式化洋式化し利便性が向上した。まだ改修できていない小中学校体育館トイレ改修工事を確実に進めていく必要がある。

- ◇学校における空調設備については、近隣市町に先駆けて普通教室への設置を完了した。中学校の特別教室について整備することが出来た。しかし小学校の特別教室などはまだこれからである。今後も優先順位の高い箇所から順次設置し、普通教室以外もより快適な環境の整備に努めたい。
- ◇中学校の生徒が急増することが見込まれ、校舎増築が喫緊の課題である。国補助をうまく使いながら増築工事を進めていく必要がある。
- ◇子どもたちの安全で快適な教育環境の確保のため、教育委員会としても学校現場に足を運ぶことで、問題箇所の早期発見に努め、また、他市町の先進事例を常に学び教育環境の充実を図る必要がある。

各校トイレ改修状況

(○ 改修済 × 未改修)

東部小			英比小			草木小		南部小		阿中	
北校舎	南校舎	新校舎	北校舎	南校舎	新校舎	北校舎	南校舎	北校舎	南校舎	北校舎	南校舎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

中学校北校舎は乾式化済みであるが洋式化されていない。

各校空調設備導入状況

(○ 導入済 △ 一部導入)

	東部小	英比小	草木小	南部小	阿中
普通教室	○	○	○	○	○
その他 特別教室等	△	△	△	○	○

※その他特別教室等については、図書室、音楽室、保健室、職員室等に設置しているが、理科室・図工室・家庭科室等には設置されていない。

G I G A スクール構想の関わる整備

特別教室通信ネットワーク環境整備工事		18,555,900 円
教育用タブレット	小学校 125 台 中学校 6 台	5,533,440 円
電子黒板	小学校 23 台 中学校 31 台	19,050,900 円
充電保管庫	小学校 1 台 中学校 2 台	660,000 円

施策名	3 特別支援教育の充実
-----	-------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

【施策の概要】

- 特別支援教育指導員が各学校を巡回し、保護者との面談や専門的立場から教員の支援・指導を行う。
- 学校支援員を配置し、特別支援学級在籍児童等の学習及び生活面での支援を行う。
- 障害者差別解消法に基づく合理的配慮の提供を行う。

【令和3年度の取組状況】

- 幼稚園・保育園から報告してもらっている特別な支援を必要とする児童について、学校教育課職員による巡回に加えて特別支援教育指導員による巡回を行い、専門的見地から見た意見を教育支援に生かしている。
- 子どもの就学について悩む保護者に対して、積極的に特別支援教育指導員との面談を実施し、必要な情報を提供することで、保護者の不安解消と就学に関する助言を行った。
- 特別な支援を必要とする児童生徒の増加に対応するため、教員の指導力向上を目的として、特別支援教育指導員を1名増員した。

年度	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
特別支援学級在籍児童生徒数 (各年度4月1日現在・人)	6 0	7 4	8 7	1 1 5	1 3 8
支援員数 (人)	1 7	1 9	2 2	2 7	2 7

- 肢体不自由児の令和4年度の小学校入学受入れに際し、必要となる改修や配慮について、両親を交え家庭の希望も伺いながら、必要な対応を実施した。

【自己評価・今後の課題】

- ◇本町の特別支援教育において、特別支援教育指導員は幼稚園・保育園・小中学校職員への助言、保護者との面談や学校支援員への研修など、重要な役割を果たしている。また、子育て支援課所属の特別支援教育指導員との情報共有も定期的に行われており、幼保小中を通して児童生徒を支援できるのが強みである。近年増え続けている支援を必要とする児童生徒の数に、どう対応していくかを考える必要がある。
- ◇特別支援学級数の増加により、経験の浅い教員が担当となり、対応に不安を抱えていることも少なくない。児童生徒個々の特性に合わせた対応力の向上を図るため、特別支援教育指導員による教員への支援は必要性を増している。

施策名	4 安全安心な学校給食センター運営
-----	-------------------

(担当：学校教育課 給食係)

【施策の概要】

- 学校給食センター「AGUMOGU」(令和2年8月供用開始)において、最新の学校給食衛生管理基準に適合した高い衛生管理のもと、より安全安心で栄養バランスのとれたおいしい給食を提供する。
- 学校給食センター建設当初から計画されていたアレルギー(卵・乳)を有する園児、児童、生徒を対象としたアレルギー対応除去食について、安全性を最優先し提供する。

【令和3年度の取組状況】

- 給食調理及び配送等委託業務を締結している民間業者と連携を図り、小学校・中学校・幼稚園に190回、保育園に225回、安全安心でおいしい給食を提供した。
 - アレルギー対応除去食提供については、事前準備、関係者への周知、保護者との面談、調理・配送シミュレーションの実施など万全の体制で取り組み、予定どおり令和3年9月から開始することができた。
- ※ 提供実績 年間32回・延べ126人 月平均4.6回・18人
- 新型コロナウイルス感染症による学校休業や度重なる学級閉鎖等の給食人員の変更についても、学校関係者と共通理解を図り柔軟な対応を行った。

【自己評価・今後の課題】

- ◇新型コロナウイルス感染症の影響長期化による食材費高騰について、創意工夫をしながら給食の量や質を低下させないように努力していく必要がある。
- ◇食物アレルギーを有する園児、児童、生徒は、増加傾向にあり、今後除去食の食数が増え続けた場合の対応と対象アレルゲンを増やした場合の安全レベルの維持が課題となる。



アレルギー除去食配送



学校給食センター【AGUMOGU】

施策名	5 青少年健全育成推進大会の実施（「社会を明るくする運動大会」と「安全安心町民大会」との合同開催）
-----	---

（担当：社会教育課 社会教育係）

【施策の概要】

- 青少年健全育成事業推進を図る事業の一つとして、青少年健全育成推進大会を、「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動」夏季強調期間の7月1日～8月31日内に例年開催している。事業内容としては、青少年の発言の場として、「家庭や地域で今、思うこと」をテーマとして、町内小学校より2名、阿久比中学校より2名、阿久比高等学校より2名の合計6名の児童生徒による発表を行う。

【令和3年度の実施状況】

- 青少年健全育成推進大会は、これまで単独で開催し、「社会を明るくする運動大会」と「安全安心町民大会」は合同で開催していた。「社会を明るくする運動大会」も7月が強化月間のため、令和3年度は、重複参加者の出席回数軽減、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、合同で開催した。
- 「社会を明るくする運動大会」は住民福祉課、「安全安心町民大会」は防災交通課、「青少年健全育成推進大会」は社会教育課が担当である。それぞれの大会が目的としていること、参加人数、来賓、配布物など開催方法を三課で決めていった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまでの各大会における参加人数から更なる減員もした。
- 令和3年7月10日(土)にアグピアホールで開催し、青少年健全育成推進大会としては、東部小学校生1名、草木小学校生1名、阿久比中学校生2名、阿久比高等学校生2名の合計6名による発表であった。発表は録音し、CDにして学校に配布した。また、家庭教育推進協議会情報紙「あつとほ一む夏号」に発表の要約を掲載し、学校一斉送信システムを利用し配信した。当日は、青少年体験ボランティア活動の体験場所にもなっており、応募児童4人が、大会の受付などを体験した。

令和3年度発表者一覧

学 校	学年	氏名(敬称略)	題 名
東部小学校	6年	吉竹 冴織	なぜ勉強するのか
草木小学校	6年	竹下 琴菜	少しの意識から町をきれいに
阿久比中学校	3年	山本 龍太郎	勇気ある一歩で
	3年	椎葉 心彩	大好きな町、阿久比町
阿久比高等学校	2年	大村 杏梨	繋ぐ
	2年	中野 光一	高校生として得られた経験



令和3年度 発表の様子



令和3年度 ボランティア活動の様子

- 「社会を明るくする運動大会」としては、先に募集した標語、習字の優秀作品の表彰、
「安全安心町民大会」としては、半田警察署交通課長、生活安全課長による交通と防
犯に関する講話を行った。他に、阿久比町としての「歩行者優先のまち」宣言、三大
会としての大会宣言を行い、閉会后には阿久比駅までの往復の合同パレードを行った。

【自己評価・今後の課題】

- ◇三大会合同であるので、それぞれの大会の目的としていることは確保しつつ、時間は
通常の大会と変わらないようにした。
- ◇三大会合同にすることで、各大会の目的や特色を広く示すことができた。
- ◇令和4年度についても三大会合同で現在進めている。今年度は、参議院選挙のため、
会場をアグピアホールから勤労福祉センターに変更して実施する。新型コロナウイルス
感染症拡大が収束したと判断された後も、合同で行うのか、新型コロナウイルス感
染症拡大する前の内容と同様に行うのかも考慮し、改めて判断する機会とする。
- ◇児童生徒の選出、原稿等の提出を学校へ依頼しているが、各学校のスケジュールもあ
るので、早めの依頼とする。

施策名	6 文化・芸術活動育成の支援
-----	----------------

(担当：社会教育課 公民館係)

【施策の概要】

○地域に根ざした文化の継承と特色のある文化の創造に向け、住民主体の芸術・文化活動を促進していく。施設の整備や活動発表の場を充実させるとともに、文化活動団体等との連携を推進する。

【令和3年度の取組状況】

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中央公民館の貸館時間短縮及び利用制限等を行っている中ではあったが、生きがい教室・講座を11講座実施した。

なお、4講座が申込者数不足又は新型コロナウイルスへの対応により中止になった。

対象	番号	名 称	回数	募集定員	受講者数
一般	1	川柳講座	7	20人	17人
	2	春の手作りお菓子講座	1	12人	12人
	3	ソフトピラティス	4	20人	20人
	4	写真、撮ろうよ。講座	1	10人	3人
	5	パソコン教室「ワードの基礎」	7	20人	7人
	6	狂俳教室	4	10人	13人
	7	パソコン教室「年賀状を作ろう」	2	10人	4人
	8	秋の手作りお菓子講座	1	12人	11人
	9	美術講座「美術館へ行ってみよう」	2	12人	12人
	10	陶芸教室	2	10人	10人
	11	よりよく生きるための終活講座	2	10人	5人
	中止	パソコン教室「基礎技能」	8	10人	—人
	中止	日本舞踊・歌謡舞踊講座	8	7人	—人
	中止	パソコン教室「エクセルの基礎」	7	10人	—人
	中止	機織体験教室	—	—人	—人

○生きがい教室・講座を修了した受講生を中心に、自主活動グループとしての新たな団体設立への働きかけを行った結果、1団体が文化協会へ新規加入したものの、高齢化や新型コロナウイルスにより活動ができないなどの理由から4団体が退会し、52団体となった。なお、サークル協議会団体数は1団体が新規加入、2団体が退会し39団体となった。

○学習したい方や自分の得意なことを活かして教えたい方が、自ら企画するマイスタディ

講座・マイプロデュース講座として7講座を実施した。

なお、2講座が申込者数不足又は新型コロナウイルスへの対応により中止になった。

対象	番号	名 称	回数	募集定員	受講者数
一般	1	ハーバリウム講座	5	10人	8人
	2	ビーズアラカルト	7	10人	11人
	3	切り絵の楽しみ方	10	20人	20人
	4	異常気象と経済講座	5	30人	32人
	5	エンジョイ・フラダンス	8	12人	18人
	6	元航空管制官が教える航空教室	5	15人	14人
	7	ママの癒しとリフレッシュ教室	5	10人	8人
	中止	クラフトバンドを使った小物作り講座	5	10人	—人
	中止	子どもから大人までみんなでLet's Dance	8	20人	—人



秋の手作りお菓子講座



ハーバリウム講座

【自己評価・今後の課題】

◇令和2年度に引き続き、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症による影響により、公民館の開館時間、各部屋の定員数や飲食の制限を行った。そのため、講座・教室についても企画が立てにくい1年だった。また、企画し募集を行っても緊急事態措置やまん延防止等重点措置の発出により開催できないケースがあった。

今後も引き続き感染対策を万全にして、可能な範囲で公民館行事を実施しなければならない。

◇中央公民館の新型コロナウイルス感染予防対策は以下のとおり（令和4年6月20日現在）

- ・体温37.5度以上若しくは体調不良の者の入館不可（体温が不明な場合は検温する）
- ・マスクの着用と手指消毒の徹底
- ・人と人の間隔は最低1mを確保
- ・利用者による使用後の机、椅子、ドアノブ等の消毒

- ・ 30分に一度、5分間の換気
- ・ 館内では水分補給以外の飲食は禁止
- ・ 各室の定員は通常定員の2／3以下

施策名	7 魅力ある図書館づくりの推進
-----	-----------------

(担当：社会教育課 図書館係)

【施策の概要】

- 魅力ある図書館づくりを推進するために自発的な学習意欲に応えられるような蔵書や資料などの充実を図り、誰でも気軽に利用できる施設を目指す。
- 魅力ある図書館づくりのために、講座の開催、展示ホールを生涯学習グループの成果発表の場とするほか各種事業を開催する。

【令和3年度の取組状況】

各種講座（文学講座、童話作法講座、読書指導講座、風土記講座、子ども向け講座等）、年間を通して土・日曜日に行う児童向けの読み聞かせ等の行事の主なものは、以下のとおり。

○保育園・学校との連携

- ・4月の子ども読書の日（4月23日）にちなみ、保育園幼稚園等の園児が図書館見学と貸出体験を行った。
- ・小中学校の学校図書館図書整理員と町立図書館の職員との意見交流会を英比小学校で開催（11月）し、会議を通して各学校の図書館の特色を情報として得ることができ、町立図書館を中心として連携の必要性が理解できた。
- ・小中学生の読書活動の機会づくりのために、「アグピー文庫」・「ティーンズコーナー」を設置している。小中学生に留まらず、一般の利用者にも利用が拡大している。
- ・11月には、英比小学校2年生（120人）が、図書館探検（見学）と図書館研究（質問）を行った。

○図書の有効利用

- ・図書リサイクル^{注1}フェア（11月11日～11月21日）を行い保育園、児童館、小学校、中学校等の公共施設に優先的に無償で譲渡した。また、一般の希望者へも無償で譲渡を行った。

○作品の展示

- ・展示ホールを小中学校・高等学校はじめ、各方面で活動しているサークルの方々に展示してもらい、多くの来館者に見ていただくことができ、展示物への関心の高さを感じた。

○青空図書館（阿久比プレイガーデンプロジェクト事業）

- ・春（5月）と秋（9月）に予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

○読書週間事業

- ・小学生が図書館司書の仕事を体験することにより、本や図書館に親しみや関心を持てるよう、「あなたも図書館司書」を行った。

【自己評価・今後の課題】

- ◇子どもの自主的な読書活動にとどまらず、一般の方々の読書活動を推進し、町民の生涯学習活動にも貢献できた。
- ◇図書館資料^{注2}については、新刊図書の購入と除籍をバランスよく行い、新しい情報を提供することができた。今後も利用者の要望に耳を傾け新しい情報提供に心掛けることが大切である。
- ◇展示ホールは、学校関係をはじめ生涯学習サークル等の活動の成果発表の場として大いに利用され、町の文化活動発展に役立っているため今後も続けていきたい。
- ◇魅力ある図書館のために講座開催がある。開催にあたっては幅広い年代層が受講できる講座の実施に努め、町民の生涯学習活動にも貢献していきたい。
- ◇図書館利用者^{注3}については、感染症予防対策に努めながら、来館者の増大を図れるよう魅力ある図書館づくりを推進していきたい。
- ◇阿久比町立図書館の新型コロナウイルス感染症予防対策（令和3年度実施）
 - ・体温 37.5 度以上若しくは体調不良の者の入館不可（体温が不明な場合は検温する）
 - ・マスクの着用と手指消毒の徹底
 - ・入館者カードの記入
 - ・人と人の間隔の確保
 - ・利用者による使用後の机、椅子等の消毒
 - ・換気の徹底
 - ・一般閲覧室、児童室、参考郷土資料室、学習室等座席数の削減
 - ・感染症対策備品として、検温スタンド1台購入、高機能空気清浄機4台購入

（注1）図書リサイクルの内訳

（単位：冊）

資料提供数	学 校	保育園等	個 人	計	リサイクル率	残 数
3,612	253	280	2,391	2,924	81.0%	668

（注2）図書館資料

蔵書増減数

（単位：冊）

	2 末蔵書数	購入	寄贈等	除籍	3 末蔵書数
図書資料	110,139	3,819	124	2,836	111,246
視聴覚資料	7,604	144	2	11	7,739

（注3）図書館利用者

年 度	入館者数	貸出冊数	貸出人数
H29	91,849 人	192,006 冊	40,122 人
H30	89,030 人	194,740 冊	40,666 人
R 1	89,390 人	189,377 冊	38,826 人
R 2	59,520 人	141,446 冊	27,976 人
R 3	80,863 人	205,417 冊	40,006 人

リサイクルフェア



あなたも図書館司書



施策名	8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進
-----	---------------------

(担当：社会教育課 体育係)

【施策の概要】

- 阿久比スポーツ村、町内各グラウンド、丸山武道場、白沢区民館、ふれあいの森などのスポーツ施設の整備に努め、全ての町民が安全にスポーツに親しめる環境整備を推進し、利用促進を積極的に図る。

【令和3年度の実施状況】

- スポーツ医・科学研究所の土地・建物について取得し、阿久比スポーツ村交流センターとして令和4年4月のオープンに向け、改修や備品購入を行った。
- 阿久比スポーツ村クラブハウスにおいては、自動火災報知機設備の受信機を更新する工事及び女子トイレの改修工事を行った。また、交流センターにおいては、体育室の防水工事、床改修工事を行った。
- 白沢区民館において体育室南面の外壁塗装工事を行った。

スポーツ村利用状況

施設名	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
陸上競技場（団体）	件数	323	272	286
	人数	20,703	14,571	15,229
陸上競技場（個人）	人数	1,627	1,642	2,471
野球場	件数	242	187	248
	人数	16,955	12,701	17,035
室内練習場	件数	172	160	176
	人数	8,738	5,861	9,283
トレーニング室	人数	9,510	1,301	2,559

ふれあいの森利用状況

施設名	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
パターゴルフ	人数	1,460	1,543	1,786
デイキャンプ	件数	122	45	3
	人数	1,978	493	23
体育室	件数	990	782	883
	人数	13,805	11,409	11,706
入園者数	人数	66,629	64,692	68,897

グラウンド利用状況

施 設 名		項目	令和元年度	令和２年度	令和３年度
白 沢	グラウンド	件数	２ ９ ６	２ ３ ７	３ ０ ７
		人数	１ ４， ９ ５ ８	９， １ ２ ７	１ ４， ４ ４ ８
	テニスコート	件数	１， ４ ３ ５	１， ０ ７ ２	１， ５ ０ ４
		人数	１ １， ３ ８ ２	７， ３ ４ ７	１ ５， ４ ８ ５
	多目的広場	件数	０	０	１
		人数	０	０	１ ０ ０
板山グラウンド		件数	２ ０ ０	１ ６ １	２ １ ０
		人数	１ ３， ２ ７ ９	１ ０， １ ８ ９	１ ４， ８ ５ ５
草木グラウンド		件数	３ ０ ４	２ ５ ６	３ ０ ０
		人数	１ ３， ２ ４ ９	６， ４ ６ ３	８， ７ ２ ２

※参考（建設環境課都市計画係より）

施 設 名		項 目	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
丸 山 公 園	運動広場	件数	3 6 4	2 7 8	3 4 3
	テニスコート	件数	2, 0 6 2	1, 6 3 5	2, 2 0 6

※丸山公園は昼間・夜間（照明）と区分があるが、他のグラウンドと比較するため、昼間のみの件数とする。人数の集計は行っていない。

【自己評価・今後の課題】

◇ 施設の老朽化が進んでいるため、安全な環境でスポーツを行うことができるよう、修繕、工事等を行った。しかし、どの施設においても、突発的な修繕が必要になる場合があるので、常に施設の状況を把握し、計画的に修繕、工事等を行い、施設の長寿命化を図るよう努める必要がある。また予算に限りがある中で、優先順位に基づいた修繕ができているか、今一度精査が必要である。

阿久比スポーツ村については、令和 3 年度にスポーツ医・科学研究所を購入し、令和 4 年度から体育室及び会議室等の利用が始まっている。6 月にはプールも開始するため今後も財政状況が厳しい中で施設の維持に努めていく必要がある、助成金等の活用しながら、利用促進を積極的に図っていきたい。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、注意喚起を促す掲示物を貼る、施設に消毒液を設置するなど、引き続き感染症対策を取りながら、施設を利用していただけるよう措置を講じていく必要がある。

交流センター多目的体育室 床改修工事



Ⅲ 学識経験者の意見

教育委員会事務評価委員会報告書

令和３年度 教育委員会事務評価委員会報告書

阿久比町教育委員会

教育長 田 中 清 高 殿

阿久比町教育委員会事務評価委員会は、令和３年度の阿久比町教育委員会事務について、令和４年６月２４日、７月２２日、７月２９日と３回の委員会を開催し、点検・評価を行った。以下に、評価結果を報告する。

令和４年８月１０日

阿久比町教育委員会事務評価委員会

委員長 田 中 悦 夫（元小学校長）

竹 内 淳 （元小学校長）

吉 住 まり子（元あぐい女性の会会長）

評 価 結 果

施策名	1 幼保小中一貫教育の推進
	○阿久比町の特筆すべき施策といえる幼保小中一貫教育について、今日的課題をしっかりとらえ、継続・発展させていってほしい。とくに英語教育・プログラミング学習・ICT教育などが新しい取り組みとして注目されているので、これらを系統的にどう学習させていくかを研究してみてもどうか。また、単年度ではなく、長期的展望での計画を作成していくことも大事ではないか。 ○小中接続部会で、コロナ感染症予防による研修会自粛からの復活を目指し、小中学校教員の園での研修を行ったことは、小中学校と園とのハードルを低くすることに役立ったと思う。 ○「幼保統一カリキュラム」や小学校1年生の「スタートカリキュラム」に基づき、給食の開始時期の変更など、実態に合った実践・見直しを行ったことは評価できる。 ○幼保小中一貫教育を今後も継続していくためには教職員の共通理解は欠かせない。町への新転任者のための研修の機会を確保していただきたい。 ○年間の活動として定着できているものと、新たな課題として取り組むべきものとを区別して、活動に負荷がかかりすぎないように進めていただきたい。
施策名	2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進
	○空調設備の設置、GIGAスクール構想に伴うネットワーク整備工事や備品等の導入など、大きな事業が続く中、トイレ改修工事の取り組みなど安全で快適な教育環境の構築が順次行われており、評価できる。 ○4小学校・1中学校の校舎はすでに50年を経過するものが多く、抜本的な新改築計画が必要となっているのではないかと。10~20年を見据えて、学校プールの維持管理も含めて順次、計画をしっかりと立てて実施していくべきと考える。そうすることにより、修繕するものの必要度も変わってくるのではないかと。 ○障害をもった児童生徒が急増する中、多目的トイレの設置も必要となってくるのではないかと。急遽設置することはできないので、計画的に各校に1つは設けるよう検討していただけるとありがたい。

施策名	3 特別支援教育の充実
	○年々、支援を要する児童生徒の数は増加している。5年間で支援学級在籍児童生徒数は2倍以上となっている。それに伴い、支援員の数も着実に対応していただいていることは大変評価できる。しかし、支援員一人当たりの支援学級在籍児童生徒数の数が増えていることは気になる。さらに、普通学級における支援を要する児童への対応支援員の増員も要望したい。 ○町における特別支援教育指導員の勤務形態を増やしていただき、担当教員や保護者に対する支援も厚くなり、大変感謝している。しかし、特別支援教育指導教員の増員・指導内容を再考する必要はないか。例えば、午前中に4小・1中の支援学級の巡回指導し、午後は就学指導対応の窓口をしたり、支援学級担当教員の研修をしたりする。常勤の教育指導員が必要と考える。
施策名	4 安心安全な学校給食センター運営
	○新学校給食センター「AGUMOGU」が完成し、供用を開始して早2年が経とうとしている。安全安心で、おいしい給食の提供ができることは大いに評価できる。 ○アレルギー対応除去食への取り組みも、保護者を含めて、関係者が連携、共通理解をして万全の体制の基で取り組んでいただき、感謝したい。命にかかわることゆえ、ミスが許されないことでもある。今後も十分な相談と検討を続けていただきたい。 ○町独自の施設なので、献立を地場産業と関連させて、例えば「あぐもぐ週間」として取り組んだり、献立コンクールなどを実施したりして、児童生徒に愛着のもたれる施設となっていくことを願う。 ○食材費や燃料費等、物価高騰が見込まれる中、味や質を落とさずにいかに給食が提供できるのか大きな課題となる。保護者の負担増を抑えながら、おいしい給食の提供にご尽力いただきたい。
施策名	5 青少年健全育成推進大会の実施(「社会を明るくする運動大会」と「安全安心町民大会」との合同開催)
	○コロナ渦で大変な中、様々な行事が中止されている。しかし、町民への啓発を兼ねた大会運営は必要と考える。そのため、合同開催されたことは大変評価できることである。三つの課でいろいろと会議を重ね、対応していただいたことに感謝したい。

○コロナ禍で行われるため、人数を最小限にすること、短時間にすることなど、課題も多いが、社会を明るくする運動強調期間は２ヶ月間あり、子どもたちだけではなく、親にとっても大切な運動である。「18 歳成人問題」もあり、課題解決に十分に向き合えるように今後も継続して検討していただきたい。	
施策名	6 文化・芸術活動育成の支援
○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中央公民館の貸館時間短縮や利用制限等を行っている中、11 の生きがい教室・講座、7 つのマイスタディ・マイプロデュース講座を実施し、受講者の数も増えてきたことはとても素晴らしいことである。 ○「ウイズコロナ」に対応できる教室や講座の在り方が２年間の実績から把握されつつあると思う。今後も町民のニーズに応えられる公民館行事を企画していただきたい。 ○文化協会も高齢化が一層進み、活動意欲の減少は否めないところだと思われる。しかし、団体活動は高齢者にとって特に必要なことなので、活動を通して新たな喜びなどを分かち合えることのできる団体となるよう期待したい。	
施策名	7 魅力ある図書館づくりの推進
○図書館もコロナ禍の影響で利用数が激減していたが、いろいろな対策を工夫しながら実施されたことにより、コロナが始まる前の数に戻りつつある。図書館の方々の努力のたまものと評価できる。 ○新刊図書の購入と除籍がバランスよく行われており、効果的に新しい情報提供がなされていることが分かる。 ○小中学生の読書活動の機会づくりのため「アグピー文庫」「ティーンズコーナー」などを設置し、一般にも利用が拡大していることは素晴らしいことである。 ○まだまだコロナ感染症の心配が続くことが予想されるが、子どもから大人まで幅広く愛される、「開かれた図書館」「魅力ある図書館」づくりのために努力されることを願う。	

施策名	8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進
	○コロナ感染症防止の対応にも慣れてきて、徐々に利用者数が元に戻りつつあることはよい傾向である。 ○ふれあいの森デイキャンプ施設の利用者数が、コロナ禍のためにたいへん少ないのが残念である。逆に屋外ということで、コロナ禍にもかかわらずパターゴルフの利用者が増えていることはよいことである。 ○施設の老朽化が進んでおり、点検・補修・改修工事は欠かせない。施設の不備が原因による事故等が発生すれば大きな問題となる。安全に親しめる施設となるために、環境整備を今後も一層推進していただきたい。 ○新たに加わった「阿久比スポーツ村交流センター」の利用促進に向けて、施設の紹介や利用状況のPRに努めるとともに、親しみやすい愛称を募集されてみてはどうか。